No.	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査（年月）	投与後検査（年月）	企業投与前検査	企業投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	備考
16	2007/6/11	人血小板濃厚液（放射線照射） 人赤血球濃厚液（放射線照射）-LR	女	70	血液疾患	細菌感染	07/04 07/04	体温36.1℃ 血圧102/50 （投与直前）	体温39.7℃ 血圧164/54 （投与後約6時間） ※院内血培は陰性。	非溶血性副作用関連検査 ・抗血漿タンパク質抗体検査：陰性 ・血漿タンパク質欠損検査：欠損なし 抗白血球抗体検査実施 患者検体：クラスI抗体（-）、クラスII抗体（+） 抗顆粒球抗体検査実施 患者検体：陰性 抗白血球抗体検査実施 輸血血液： （1）照射濃厚血小板…クラスI抗体（+）、クラスII抗体（-） （2）照射赤血球濃厚液-LR（2本）…クラスI抗体（-）、クラスII抗体（-） 抗顆粒球抗体検査実施 輸血血液： （1）照射濃厚血小板…陰性 （2）照射赤血球濃厚液-LR（2本）…1本（+）、1本（-）（陽性となったものは好中球に反応する。） 同一採血番号の血漿（1本）で無菌試験を実施。 無菌試験結果：「適合」 ※被疑薬：採血4日目の照射濃厚血小板（1本）。					※輸血された照射濃厚血小板（輸血日より6日経過したもの）を医療機関で細菌検査した結果、Bacillus cereusが検出された。 ※本症例は、4月27日に副作用名「急性呼吸不全、TRALI」として情報を入手し、5月17日に副作用未完了報告（2-07003222）されたが、5月28日に細菌感染疑いとしての追加調査を希望するとの情報を入手したため、副作用報告を取り下げ感染症報告として報告されたもの。 担当医は急性呼吸不全、TRALIについての被疑薬を3本（照射濃厚血小板1本、照射赤血球濃厚液-LR 2本）、細菌感染疑いについての被疑薬をそのうちの1本（照射濃厚血小板）としている。
17	2007/6/11	人赤血球濃厚液（放射線照射） 新鮮凍結人血漿	男	60	肝・胆・膵腫瘍	C型肝炎	06/10 06/10	HCV-Ab(-) (06/08)	HCV-Ab(+) (07/01) HCV-Ab(+) (07/02) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/05)	HCV-RNA(-) (06/10)	HCV-RNA(+) (07/06)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体11本全てHCV-RNA(-)	
18	2007/6/12	人赤血球濃厚液（放射線照射）	女	30	消化器疾患	B型肝炎	06/11	HBsAg(-) (06/11)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(+) HBV-DNA(+) (07/05)	—	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (07/05)	陽性(輸血後)	保管検体3本全てHBV-DNA(-)	
19	2007/6/14	人赤血球濃厚液-LR	男	70	血液疾患	B型肝炎	07/04	HBsAg(-) (07/03) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/04)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(-) (07/05)	HBV-DNA(-) (07/04)	HBV-DNA(-) (07/05)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	保管検体2本全てHBV-DNA(-)	